
新潟日報紙「健康」欄に読者の質問に答える形で連載

Q：生理不順で不妊に悩む

結婚 3 年目の主婦で不妊に悩んでいます。婚前からのひどい生理不順が治らず、今も不妊治療で通院中です。一度妊娠しましたが原因不明で流産、排卵誘発剤の錠剤や注射も効果なく、注射で生理を起こし、医師からたのうほう多嚢胞性卵巣で、卵巣を覆う膜が厚いと言われました。本には手術で治るとありますが本当でしょうか。

(新潟市・Y子)

A：たのうほう多嚢胞性卵巣なら手術も

女性の不妊の原因は、卵管の異常か排卵がうまく起きないかのどちらかですが、ご質問からみて、あなたの不妊原因は、排卵障害と思われます。

無月経状態のところ、黄体ホルモンを投与して数日後に消退出血といって生理があれば、第一度無月経と診断されます。この場合、排卵誘発剤で排卵が起こるかどうかを見るのが一般的方法です。

誘発剤に反応しない第一度無月経の場合、卵巣が多嚢胞性にしゅだい腫大し、排卵しにくい状態にあることが多く、多嚢胞性卵巣と言います。この疑いのあるときは、さらに詳しいホルモン測定が必要で、ふく腔こう腹鏡検査で、直接卵巣の状態を検査する必要もあります。

多嚢胞性卵巣は、全く排卵誘発剤が効かない訳ではなく、漢方や副腎皮質ホルモンを併用するか、多胎妊娠などの恐れもありますが、注射による排卵誘発も行われます。また多嚢胞性卵巣が明らかなきは、卵巣のくさび楔状切除手術を行うことも考えられます。

卵巣が多嚢胞性に腫れ、無月経、不妊、肥満、多毛など、男性化を主症状とした「多嚢胞性症候群」という疾患もあるので、注意すべきです。

治療を受けている先生とよく相談され、場合により総合病院の産婦人科に紹介して頂くのもよいと思われま